

伐採と造林の連携による再造林推進事業

森林経営課20,000千円
【財源：国庫支出金】

事業の目的

伐採から搬出及び造林作業を連携して実施することで低コスト化を図り、伐採後の速やかな再造林を推進する。

事業の概要

(1) 事業内容

事業区分	内容	予算額・補助率
資源高度利用 型施業	<ul style="list-style-type: none">末木枝条の集材上記と連携して行う人工造林	20,000千円 (補助率：定額)
関連条件整備 活動	<ul style="list-style-type: none">対象森林の調査森林所有者の同意の取付け森林作業道の整備鳥獣害防止施設の整備	





機械地拵え



コンテナ苗植栽

(2) 事業の仕組み

県  補助  森林組合や林業事業者

(3) 成果指標

再造林率 73.3%(R3) → 90.0%(R8)

事業の期間

令和6年度～令和8年度



【別紙】 伐採と造林の連携による再造林推進事業

現状と課題

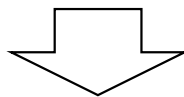
- ① 伐採事業者は、伐採後、枝条等を放置し現場を離れ、その後、春先に造林事業者(造林班)が現場に入り、人力による地拵え後、造林を行っている。
- ② 伐採後、一定期間放置されると雑草木が繁茂し、地拵えに時間や経費が嵩み再造林が進まないケースが見受けられる。

事業内容及び効果

【施業方法】

・従来方式

伐採～搬出後に枝条等を残し、一定期間林地が放置されている。この期間が長期になると雑草木が繁茂し、地拵え等に要する手間が増える。

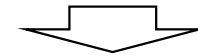


・一貫作業システム方式

伐採に利用した重機を活用して枝条整理を行い、その後、造林事業者(造林班)がコンテナ苗等を活用して速やかに造林作業を行うことで施業の低コスト化・省力化が図られる。

【効果】

一貫作業による再造林の低コスト化・省力化
伐採後のすみやかな再造林の推進



再造林率の向上

(一貫作業システム方式)

